

# 国民健康保険特別会計 決算

●問い合わせ先 保険年金課 ☎248-1275

令和2年度の年間平均の国保加入世帯数は6,966世帯で、被保険者数は11,649人でした。前年度と比較して、加入世帯は18世帯、被保険者は167人の減となっています。

## ▼歳入

| 科目         | 収入額                                | 収入額の構成割合 |
|------------|------------------------------------|----------|
| 国民健康保険税    | 11億2,360万7千円                       | 17.6%    |
| 使用料及び手数料   | 43万4千円                             | 0.0%     |
| 国・県支出金     | 47億909万2千円                         | 73.7%    |
| 一般会計繰入金    | 5億3,692万7千円                        | 8.4%     |
| 繰越金        | 531万9千円                            | 0.1%     |
| その他の収入     | 1,812万円                            | 0.2%     |
| 合計<br>前年度比 | 63億9,349万9千円<br>△5,533万8千円(△0.86%) | 100.0%   |

## ▼歳出

| 科目           | 支出額                                  | 支出額の構成割合 |
|--------------|--------------------------------------|----------|
| 総務費          | 2,788万3千円                            | 0.4%     |
| 保険給付費        | 45億6,086万6千円                         | 72.0%    |
| 国民健康保険事業費納付金 | 16億8,134万6千円                         | 26.6%    |
| 保健事業費        | 5,081万3千円                            | 0.8%     |
| 基金積立金        | 304万1千円                              | 0.0%     |
| その他の支出       | 673万4千円                              | 0.2%     |
| 合計<br>前年度比   | 63億3,068万3千円<br>△1億1,283万5千円(△1.78%) | 100.0%   |

○当年度収支 6,281万5千円(前年度比 +5,749万7千円)

# 公営企業会計 決算

●問い合わせ先 水道事業・工業用水道事業に関すること 水道課 ☎248-1130  
下水道事業に関すること 下水道課 ☎248-1159

公営企業は、民間企業のように物やサービスの提供に対する料金などの収入によって運営する会計で、官公庁会計方式ではなく企業会計方式で会計事務を行ないます。本市では、水道事業や工業用水道事業、下水道事業が企業会計方式の会計事務を行なっています。



## 水道事業

### ▼損益計算書

| 収益の部       |                                  | 費用の部       |                                 |
|------------|----------------------------------|------------|---------------------------------|
| 営業収益       | 7億4,230万1千円                      | 営業費用       | 5億9,341万9千円                     |
| 営業外収益      | 8,238万3千円                        | 営業外費用      | 4,331万4千円                       |
| 特別利益       | 0円                               | 特別損失       | 21万3千円                          |
| 合計<br>前年度比 | 8億2,468万4千円<br>+3,693万2千円(4.69%) | 合計<br>前年度比 | 6億3,694万6千円<br>△2,337万円(△3.54%) |

○当年度純利益1億8,773万8千円(前年度比 +6,030万2千円)

### ▼貸借対照表

| 資産の部 |              | 負債・資本の部 |              |
|------|--------------|---------|--------------|
| 固定資産 | 81億8,945万9千円 | 負債      | 37億9,415万6千円 |
| 流動資産 | 17億2,389万3千円 | 資本      | 61億1,919万6千円 |
| 合計   | 99億1,335万2千円 | 合計      | 99億1,335万2千円 |

## 工業用水道事業

### ▼損益計算書

| 収益の部       |                               | 費用の部       |                                |
|------------|-------------------------------|------------|--------------------------------|
| 営業収益       | 4,028万9千円                     | 営業費用       | 3,124万1千円                      |
| 営業外収益      | 996万9千円                       | 営業外費用      | 0円                             |
| 合計<br>前年度比 | 5,025万8千円<br>△211万2千円(△4.03%) | 合計<br>前年度比 | 3,124万1千円<br>△515万3千円(△14.16%) |

○当年度純利益1,901万7千円(前年度比 +304万1千円)

### ▼貸借対照表

| 資産の部 |             | 負債・資本の部 |             |
|------|-------------|---------|-------------|
| 固定資産 | 2億5,879万3千円 | 負債      | 2億2,557万6千円 |
| 流動資産 | 5億3,056万7千円 | 資本      | 5億6,378万4千円 |
| 合計   | 7億8,936万円   | 合計      | 7億8,936万円   |

## 下水道事業

### ▼損益計算書

| 収益の部       |                                      | 費用の部       |                                       |
|------------|--------------------------------------|------------|---------------------------------------|
| 営業収益       | 9億98万3千円                             | 営業費用       | 11億6,032万3千円                          |
| 営業外収益      | 4億5,279万7千円                          | 営業外費用      | 1億1,800万8千円                           |
| 特別利益       | 3億8,595万3千円                          | 特別損失       | 12億7,681万8千円                          |
| 合計<br>前年度比 | 17億3,973万3千円<br>+3億8,612万1千円(28.53%) | 合計<br>前年度比 | 25億5,514万9千円<br>+11億2,204万3千円(78.29%) |

○当年度純損失8億1,541万6千円(前年度比 +7億3,592万2千円)

下水道事業は、須屋浄化センターの解体に係る費用の増加により大幅な赤字となりました。この影響は令和3年度まで続きます。今後も赤字の解消に向けて、経営改善に取り組んでいきます。

※公営企業会計の金額は全て税抜き

# 令和2年度の主な事業と決算額

## 議会費

会議録反訳委託…………… 260万5千円  
事務用備品…………… 239万3千円

## 総務費

特別定額給付金給付事業費補助金  
…………… 62億7,380万円  
商品券事業補助金…………… 3億1,334万9千円

## 民生費

教育・保育施設給付費…………… 33億6,247万5千円  
児童手当…………… 13億7,159万円  
障害福祉サービス給付…………… 11億8,709万5千円  
児童発達支援・放課後等デイサービス給付  
…………… 7億480万7千円  
後期高齢者広域連合負担金(療養給付費)  
…………… 5億3,193万6千円  
介護保険特別会計繰出金(指定経費) 5億2,810万円  
こども医療費…………… 2億8,348万2千円  
児童扶養手当…………… 2億7,753万2千円  
医療扶助費(生活保護費)…………… 2億2,261万円

## 衛生費

菊池環境保全組合負担金…………… 7億1,740万3千円  
予防接種委託…………… 2億8,626万5千円  
ごみ収集運搬委託…………… 2億85万9千円

## ▼健全化判断比率

| 指標        | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 早期健全化基準 |
|-----------|--------|-------|-------|---------|
| ①実質赤字比率   | なし     | なし    | なし    | 12.90%  |
| ②連結実質赤字比率 | なし     | なし    | なし    | 17.90%  |
| ③実質公債費比率  | 5.2%   | 5.7%  | 6.7%  | 25%     |
| ④将来負担比率   | なし     | なし    | なし    | 350%    |

※比率がないものは「なし」で表示しています。

①実質赤字比率 一般会計の赤字額の規模を示す比率です。当年度は赤字額がないため、比率はありません。

②連結実質赤字比率 全ての会計を対象にした赤字額の規模を示す比率です。すべての会計で赤字額がないため、比率はありません。

③実質公債費比率 一般会計のほか、特別会計などへの公債費負担なども加えた実質的な公債費の比率です。当年度は6・7%となり、前年度から1%上昇しました。

④将来負担比率 一般会計の地方債残高に加え、特別会計などへの将来負担を示した比率です。本市は、将来負担額に対して、基金積立金などの財源が上回っているため、比率はありません。

資金不足比率 公営企業の資金不足額の規模を示す比率です。いずれの公営企業も資金不足額がないため、比率はありません。

## 農林水産業費

菊池台地土地改良事業費負担金… 6,462万8千円  
多面的機能支払交付金事業補助金・ 3,515万2千円

## 商工費

総合健康センター改修工事… 2億1,300万7千円  
事業者定額支援補助金…………… 1億4,910万円

## 土木費

区画整理事業補償補填(補助)・ 5億2,614万2千円  
下水道事業会計出資金(資本的収入)  
…………… 3億7,428万4千円  
道路改良等工事(補助)…………… 3億4,600万7千円  
道路改良等工事(単独)…………… 1億7,192万円  
下水道事業会計補助金(営業外収益)  
…………… 1億4,866万1千円

## 消防費

菊池広域連合負担金…………… 6億762万3千円

## 教育費

合志風の森小・中学校建設事業費 36億2,232万円  
教材用備品…………… 4億7,678万5千円  
会計年度任用職員…………… 1億9,817万円

## 公債費

元金償還金…………… 20億9,929万2千円

市の財政は健全な状態です。令和2年度決算に基づく「健全化判断比率」「資金不足比率」を算定しました。これは、地方公共団体の財政の健全化に関する法律で定められたもので、財政破綻を未然に防ぐため、4つの指標で自治体の財政状況を把握することを目的としています。